



## 島根県獣医師職場体験実習（インターンシップ）がありました

島根県では、県内にある公務員の職場を中心に獣医師の働く現場を見ていただき、どんな仕事かを知ってもらうため、毎年、多くの獣医系大学生を受入しています。今年度は8月20日から9月7日までの間で対応しました。

当所では1日の体験で、JAの肥育センター及びキャトルセンターの見学と、和牛繁殖農家で繁殖実習をさせていただきました。短い時間でしたが積極的に体験していただき、畜産現場の獣医師の仕事を実感してもらう良い機会になったのではと思っています。



このインターンシップを通じて、将来、島根県で働く獣医師が一人でも増えてほしいと切に願うばかりです。インターンシップ実施にあたりご協力いただきました皆さま、本当にお世話になりました。（山下）

## 26年ぶりに国内で豚コレラ発生

「豚コレラ」は豚やイノシシが感染する致死率の高い法定伝染病で、国内では平成4年を最後に発生がありませんでしたが、9月9日に岐阜県の養豚農家で26年ぶりに発生しました。牛や馬など他の家畜や人には感染しませんが、衣服や靴などについてウイルスを人が運んでしまう可能性がありますので、発生地付近へお出かけの際は十分にご注意ください。また、豚飼養農家様におかれましては今一度「飼養衛生管理基準」の遵守徹底をお願いします。（永海）

## 夏のダメージは秋まで続く

今年の夏は大変暑い日が続きました。7月、8月の平均最高気温はそれぞれ32.2度、33.7度と、これまでにない暑さとなりました。さらに、9月から11月までの気温は平年より高いか平年並みと予想されており、まだまだ暑い状態は続きそうです。

牛の夏バテの被害は秋口に発生しやすいので引き続き対策をお願いします。暑さが続いた場合の傾向と対策を以下に示しますので、参考にいただければと思います。（矢田）

### ①肝機能が低下します

強肝剤やビタミンEを補給しましょう。

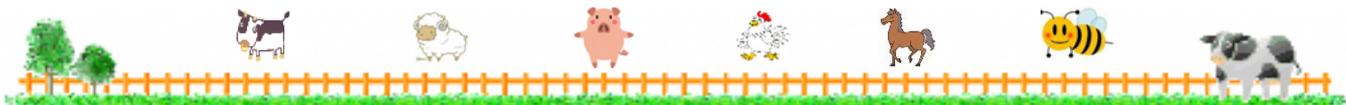
### ②ビタミンAの消費がはげしくなります

ビタミンAを普段より多めに給与しましょう。

### ③第一胃の発酵異常が起きやすくなります

暑さのために粗飼料の食い込みが悪くなり、その結果、反芻や第一胃の運動が低下し発酵異常を起こすことがあります。生菌剤などで第一胃の調子を整えましょう。

～夏のダメージを引きずらないために、牛のコンディションを整えてあげましょう～





## 海外で口蹄疫・鳥インフルエンザが継続して発生

今年度は、口蹄疫が中国で毎月発生、高病原性鳥インフルエンザも、中国及び台湾で継続的に発生しています。口蹄疫は年中発生リスクがあり、鳥インフルエンザは冬に向けてリスクが高まりますので、家畜飼養者の皆さま、および関係者の皆さまにおかれましては引き続きご注意願います。(廣江)

### 中国における口蹄疫の発生状況(2016年1月以降)



## 中国でアフリカ豚コレラが発生 (アジアでは初)

豚コレラと似た症状を示すアフリカ豚コレラが、8月3日に中国で確認され感染が拡大しています。これまでに国内での発生は報告されていませんが、本病の侵入リスクは非常に高くなっていますのでご注意ください。(永海)

## 飼養衛生管理基準の巡回について

飼養衛生管理基準の遵守状況の確認のため、今年も11月ごろから管内畜産農家全戸について巡回させていただきます。日ごろからご注意いただいているところとは思いますが、

- ①衛生管理区域の入り口に看板を設置しているか、②消毒槽を設置しているか、③カレンダー等で来場者を記録してあるか、の3点について改めてご確認ください。

また、飼養している家畜の種類・頭数などを毎年1回、同封の「**定期報告書**」にて報告していただくことになっておりますので、**12月21日まで**に返信用封筒にてご提出ください。

matsuekaho matsuekaho

島根県松江家畜保健衛生所

○本 所 (島根県東部農林振興センター松江家畜衛生部)

〒699-0109 松江市東出雲町錦浜474-2

TEL : (0852)52-5230 公用携帯 : 080-1935-0883 FAX : (0852)52-3377

○隠岐支所 (島根県隠岐支庁農林局家畜衛生部)

〒685-0015 隠岐郡隠岐の島町港町塩口24

TEL : (08512)2-9690 公用携帯 : 080-1935-0886 FAX : (08512)2-9657

